

SHOW HEY シネマルーム

Data

監督：マックG

出演：リース・ウィザースプーン/
クリス・パイン/トム・ハー
ディ/ティル・シュヴァイガ
ー/アンジェラ・バセット/
チェルシー・ハンドラー

Black&White / ブラック&ホワイト

2012年・アメリカ映画
配給 / 20世紀フォックス映画・98分

2012 (平成24) 年3月13日鑑賞

角川映画試写室

👁️👁️ みどころ

1人の女性を獲得しようと、CIAの凄腕エージェントが恋のレースを大展開！無二の親友の2人はさまざまなルールを決めたが、さて実際は・・・。
アイデア不足の解消に向けた努力は認めるものの、このレベルでは・・・。

* * * * *

このネタはナニ？

1人の女性ローレン・スコット（リース・ウィザースプーン）を獲得しようと、2人の男が恋のバトル。ところがFDR（クリス・パイン）とタック（トム・ハーディ）は、CIAの凄腕諜報員として困難な任務に立ち向かう無二の親友。そのため、恋のレースにどちらが勝つかの白黒をつけるべく、2人はさまざまなルールを・・・。しかし、情報の傍受、衛星による追跡、遠隔操作等々CIAの調査能力をフルに職権乱用(?)するのは大目に見るとしても、そのレースの展開ぶりはCIAのトップエージェントとは思えぬバカバカしさ。

ローレンの方も本来魅力的な女性だが、元カレと別れた今は男に怖気ついているらしい。そんなローレンにハッパをかけるのが親友のトリッシュ（チェルシー・ハンドラー）だが、そのアドバイスもかなりいい切減・・・。ネタ不足のハリウッドらしく新アイデアで勝負したが、残念ながらそのレベルはテレビのパラエティードラマ並み。これでは・・・。

ラブコメの新女王もこれでは・・・

1人の女をめぐる2人の男の恋の勝負では「どちらが先に寝るか？」がポイントになる

らしいが、2人で決めたややこしい「ルール」の裏側をくぐり抜けて、あるいはルールを超えたハプニングの中で先着したのは、FDR?それともタック?無二の親友が女獲得合戦の中で次第に心が離れ、ケンカ状態になっていく姿が本作のストーリー構成の軸だが、きっと最後には予定調和が待っているはず……。CIA諜報員は秘密の仕事だからFDRもタックも表の職業を持っているが、プレイボーイのFDRに対してバツイチで1人息子もいるタックは少し陰気だから(?)レースには少し不利?もともと、その境遇を逆活用してアピールするのもCIA諜報員らしいテクニック?どちらが白でどちらが黒かは別として、2人のキャラの対比から見て予想どおりの結末に少しゲンナリ。

『メラニーは行く!』(02年)(『シネマルーム2』168頁参照)や『キューティ・ブロード ハッピーMAX』(03年)(『シネマルーム3』287頁参照)で颯爽としたラブコメの新女王ぶりを見せつけていたリース・ウィザースプーンも、こんな映画のヒロインでは魅力も半減……。

2012(平成24)年3月14日記